



わかしお

糸魚川市立能生小学校
学校だより NO. 15
令和3年12月10日

いじめ見逃しゼロスクール集会

11月29日(月)に能生中学校を会場に、標記の集会が行われました。能生中学校の全生徒、能生小学校の6年生、他の4小学校の5・6年生が勢揃いしました。また、各校の学校運営協議会委員や、民生・児童委員の皆様からご参加いただきました。



今年度は、弁護士（糸魚川市スクール・ロイヤー）の川辺雄太さんの講演と、それを受けてのグループ（10名以下の24班）での話し合いが行われました。

本号は、その講演の一部をご紹介します。まずはクイズです。これはいじめでしょうか？

Hさんは友だち3人と、オンラインゲームをしようと思い、「じゃあ、今日の夜8時に集合」と言って盛り上がっていた。そこへIさんが来て、「それ、どんなゲーム？」と聞いてきた。Hさんたちは、Iさんに対して、「えー、おまえ知らないの？だっさ。」と言った。これによりIさんはとてもイヤな気持ちになった。

正解は「いじめです」。相手がイヤな気持ちになれば、それはいじめです。では、次にこれはどうでしょう？皆さんは、どう考えますか？

- ①いじめられる人も悪い。=いじめは許される（仕方ない）
- ②いじめられる人は悪くない。=いじめは許されない。
- ③いじめられる人が悪いこともある。=場合によってはいじめも許される（仕方ない）

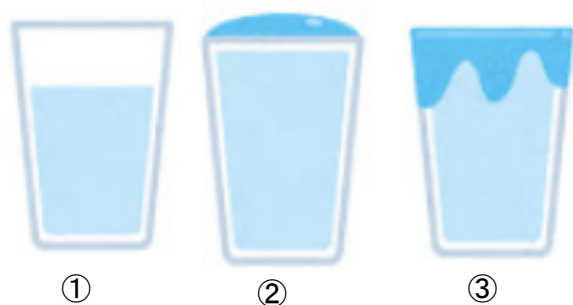


正解は②です。不潔とか場の空気を乱す等は、いじめの原因にはなりません。いじめてよい原因は存在しないのです。いじめは、100%いじめの方が悪いのです。※約半分の子ども（数人の大人）が③に挙手



いじめを受けた側や傍観者の心には、ずっと傷が残ります。川辺さんは、昔、傍観者だったときがありました。その時のことがずっと心に傷が残ったままなので、弁護士になりました。そして、川辺さんは東京生まれですが、弁護士が不在でスクール・ロイヤーを募集している糸魚川市に手を挙げて来られました。

一方、いじめる側は、自分はそこまでひどいことをしていると自覚しない場合が多くあります。ここで、川辺さんは、次頁の「コップの水」の絵を示しました。いじめられた人の心がコップです。コップの水が溢れるのは危険な状態を意味します。その①や②の状態では、後、何滴でコップは溢れるでしょう？



①のコップであれば、若干の余裕があります。しかし、②はもう限界です。微量の水であっても「最後の一滴」になり、③になってしまいます。

「最後の一滴」は、「そんなこと？」と周りが思うような些細なことかもしれません。でも、②の限界状態であれば、溢れるのは容易なことになります。

人間は、「ずるい生き物」です。自分に都合のよいように考えて行動してしまうのです。だから、「それはよくないのでは？」と忘れずに自問して生きていかなければなりません。「自分が最後の一滴を与えないかな？」と思って行動することが大切です。



これを基に、9日（木）の児童集会では、生活委員会主催の「いじめ見逃しゼロスクール集会（能生小）」が行われました。テーマは、「どうしたらいじめのない能生小学校になるかをみんなで考える」でした。6年生の生活委員が上記のクイズを出しました。能生小学校の子どもたちも、能生中学校区の集会同様の挙手がありました。全校でいじめについて考える良いきっかけとなりました。

それを受けて、校長はこのように確認しました。

い：いけない！

⇒許されるいじめはない。「いじめはいけない」ことは全員がわかっている。「何気ない悪口」「これくらい」という気持ちは止める。仕返しもしじめと同じ。

じ：自分だったら？

⇒自分が言われて・されてイヤなことは言わない・しない。みんなの前でからかったり、たった一言でも傷付いたりする言葉は言わない。

め：メンバーで！

⇒登校班・下校班、わかフレ班、学年、学校、ゲームのメンバーで、「これはいじめかな？」と思ったら、注意する。



いじめられたら、輝けません。175名が輝くためにも、みんなでの力でいじめのない能生小学校を創っていきましょう。

なお、学校では、4月26日に「いじめ防止基本方針」を策定(保護者配付、HPにUP)し、それに則り対応しています。「未然防止(分かる授業で居心地のよい学級づくり：当校の研修テーマ)」、「早期発見」、「組織対応で早期解決」をキーワードに、そして、「一人ひとりが輝く学校」を合言葉に「いじめ見逃しゼロ」にこれからも取り組んでまいります。

保護者、ご家庭、地域の皆様も、何かお気づきのことがございましたら、いつでも、どんなことでもお知らせください。皆さんと一緒に、大切な子どもを守っていきたいと考えております。



大成功！チャレンジ ランキング フェスティバル

11月25日(木)に標記の児童会行事が開催されました。能生小のこのチャレンジランキングフェスティバル（以下、「チャレラン」と略記）のよさは、そのための事前に2回の相談タイム（1回目：9日・火、2回目：18日・木）と、前日（24日・水）に前日準備があることです。ここで、「わかフレ歩こう会」で今まで以上に絆を深めたメンバー（1～6年生）で相談・準備が行われました。



次の3つです。

- ・ 全校が楽しいと言ってくれるチャレラン
- ・ けがなく、みんなが安全に過ごすことができるチャレラン
- ・ 班と協力して、自分たちも楽しかったと言えるチャレラン



1年生から6年生、一人ひとりが自分の役割を果たし、また、お店で楽しんだ行事となりました。



開会式：「廊下は走らない」の説明



文字さがし



もの当て



ストラックアウト



缶つみ



卓球的当て受付



バランスボール乗り

おしらせ

○新しいALTをご紹介します。■■■出身の●●先生です。英語はもちろん、日本語も上手です。ある程度のひらがな・カタカナ・漢字の読み書きもできます。既に数回、外国語（5・6年生）や外国語活動（3・4年生）の授業をしました。子どもが大好きな先生で、「かわいい！」「楽しい！」と申しております。

○11月25日（木）に能生商工会女性部の皆様から、女性部地域活性化事業としてカニロゴ入り抗菌紙マスクケース3枚と、マスク1枚、メッセージカードをいただきました。ご家庭では、既に大事に使われていることでしょう。心温まる贈り物をありがとうございました。

○学期末です。持ち帰りが多くなる時期です。学校では、右の絵のようにならないように、計画的に少しずつ持ち帰るようにします。新学期も同様に、少しずつ学校に持ってくるようにします。

持ち物の管理は、自立の重要な要素です。今後、天候が荒れる時期になります。このため、天候や学習の予定を考えて持ち物を決める、ぬれずに持っていく方法を考える絶好のチャンスです。お子さんの様子を基に、ご家庭でもお声掛けいただければ幸いです。



→前号の「どこにいるいるクイズ？」の答え

⇒4年生教室



← ↓ どこにあるあるクイズ②？

左の時計と下の表示は、どこにあるでしょう？

